

「明石洋子さんの本の完結をお祝いする会」へ出席して

当 HP でもしばしば記載したことのある「自閉症の息子と共に① ありのままの子育て」、「自閉症の息子と共に② 自立への子育て」、「自閉症の息子と共に③ お仕事がんばります」の著者の「明石洋子さんの本の完結をお祝いする会」へ出席。

久しぶりにお江戸登り（しかもちゃっかりと、元学生で今は通園施設に勤務する保育士と、障害児の学童保育の旧知のスタッフの2人をお供に。これじゃあ、水戸黄門ご一行様だったかな(^o^)

明石さんとは自分の HP を覗いてくれてからの1年半前からの交流で、こうして出版祝賀会に声をかけてくださること、この歳になってもこうした出会い、交流があることは、嬉しい限り……。

今日は全国から、140余名の明石チルドレン(?)、大集合。NHKの内多キャスター（「生活ほっとモーニング」）の司会で和やかに進行。

明石さんは、若い自閉症を育てている親のあこがれと夢の指標なのでしょうね。こうして家族に生きる勇気を与えている同じ親の立場である明石さんはやはり凄い存在。

自分もあやかって、人に勇気を与えることができればなあ～。

ご主人、弟さん夫妻とも短い時間でしたが、お話しすることも出来ました。また、地方からの若い母親とも同じテーブルでしたので、親しくお話しさせていただきました。更に、出版社の方とも親しく声をかけさせていただきました。こうしたところは、いつもの自分の厚かましさ、躍如というところかな。

ご息子も自分の名前を覚えてくれて、名前を呼んでくれたことは、感激！ご息子は、母親の本を購入してくれた人に、集いの間中、一生懸命サインしていたが、途中少し疲れた様子も…。何とも微笑ましかった。

ただ、若い親たちの祝辞の中で、「完結でなく、第4巻を！」としきりに皆さんは希望していましたが、「あなた達若い親が、第4巻を書けるようになることが明石さんとの出会いへの恩返しでしょ！」と、つつい云いたくなるのを抑えながら聞いていた。

我が助さん、格さんは、「そのことを話したら」としきりと印籠を出すことを促してきましたが、そこまでの厚かましきまでは……。

さて今後、明石チルドレンから、どれだけの若い親が巣立ち、自立して行くか、楽しみ！

助さん、格さんも、出席できたことを大変喜んでくださり、ご老公でなくご老体の付添の声掛けを厚かましくしただけに、ほっとした。

(2005年12月11日記)